

政 策 部

1. 部総括表

部名：政策部

(単位：千円)

番号	課名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備考
1-1	政策課	560,940	547,394		13,546	
1-2	地域活力推進課	3,257,813	3,188,225	13,064	56,524	
1-3	予算課	65,823,232	65,741,788		81,444	
1-4	自治振興課	1,013,618	1,009,810		3,808	
1-5	水資源対策課	(894,126) 3,010,922	(894,126) 2,467,106	515,457	28,359	
1-6	統計調査課	713,259	670,801		42,458	
1-7	男女参画・県民活動課	148,845	145,351		3,494	
1-8	文化振興課	(12,060) 1,465,921	(7,108) 1,342,701	91,744	(4,952) 31,476	
1-9	瀬戸内国際芸術祭推進課	139,723	118,402		21,321	
1-10	デジタル戦略課	364,953	360,803		4,150	
1-11	情報システム課	839,372	816,140		23,232	
1-12	出納局	279,623	278,742		881	
1-13	議会事務局	1,141,003	1,132,017		8,986	
1-14	監査委員事務局	131,560	130,110		1,450	
	部計	(906,186) 78,890,784	(901,234) 77,949,390	620,265	(4,952) 321,129	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

2. 課総括表

課名：政策課

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-1-1	東京事務所運営費	186,212	185,064		1,148	東京事務所の運営に要する経費 給料68,683、職員手当等65,150、 共済費29,247
1-1-2	政策立案推進事業	76,948	73,124		3,824	主要施策の成果の概要 (1-1-2)に記載
1-1-3	政策課運営費	159,217	158,373		844	政策課の運営に要する経費 給料75,382、職員手当等50,381、 共済費28,878
1-1-4	政策部運営事務費	14,325	9,128		5,197	政策部の運営に要する経費
1-1-5	大学生等奨学事業繰出金	124,238	121,705		2,533	主要施策の成果の概要 (1-1-5)に記載
	課計	560,940	547,394		13,546	

3. 職員数の状況 (R3.3.31現在)

課名：政策課

(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
政策課	(1) 18	3	(1) 21	全国知事会へ派遣1名、育児休業1名
東京事務所	(7) 13	3	(7) 16	派遣職員7名
合計	(8) 31	6	(8) 37	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>政策立案推進事業（1-1-2）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>せとうち田園都市の新たな創造をめざして、人口減少や中枢拠点機能の強化等、県政を取り巻く様々な課題の解決に向けて、調査研究や各種取組みを行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 政策立案推進事業（60,586千円）</p> <p>①新・せとうち田園都市創造計画推進事業等 (5,708千円)</p> <p>有識者等との懇談会を開催し、施策評価の結果をもとに、「新・せとうち田園都市創造計画」の進捗状況について意見交換を行うとともに、県の主要事業やイベント等を紹介する「香川県の主要事業のあらまし」の作成等を行った。</p> <p>また、令和3年度からの県政運営の基本方針となる次期総合計画の策定に向け、県民意識調査を実施するなど幅広く県民の意識やニーズを把握したうえで、次期総合計画骨子案をとりまとめた。</p> <p>②ふるさと想起・さぬきPR推進事業（14,566千円）</p> <p>ふるさと納税「ガンバレさぬき応援寄付」について、より効果的にPRするとともに、ふるさと香川への思いを喚起するきっかけとするため、寄付をいただいた方に対し、県産品等を贈呈した。</p> <p>③奨学金を活用した大学生等の地方定着促進事業 (5,996千円)</p> <p>本県の産業を担う人材を確保するとともに、これらの者が県内に定着することを促進するため、大学生等を対象とした日本学生支援機構の無利子奨学金を活用して、その返還を支援する事業を実施するため、奨学金特別会計に経費を繰出した。</p> <p>④東京讃岐会館等東京地区県有資産利活用推進事業 (4,197千円)</p> <p>東京讃岐会館を含む三田小山町西地区において、第一種市街地再開発事業が進展しているのに併せて、東京地区における県有資産の有効な利活用を図るための取組み等を行った。</p> <p>⑤小型無人機ドローン利活用推進事業（1,204千円）</p> <p>ドローンの利活用を推進するための環境を整備し、様々な施策の実施にあたって、ドローンを広く活用した。</p>	<p>有識者等との懇談会での意見については、施策評価結果とあわせて、事務事業の見直しの参考とした。「香川県の主要事業のあらまし」については、東京・大阪事務所、県の出先機関等で配布し、県の事業に対する理解の促進と県の魅力のPRに役立てた。</p> <p>また、県民意識調査や県内大学生・県出身県外大学生等アンケート調査等を実施し、次期総合計画骨子案に県民の意識やニーズを反映させた。</p> <p>令和2年度「ガンバレさぬき応援寄付」受入実績は1,788件、33,015千円となった。</p> <p>返還支援の対象者の募集を行い、令和3年度に大学等へ進学・進級する25名について返還支援の対象者とした。</p> <p>また、令和2年度に支援条件を満たした対象者3名に対して奨学金特別会計から総額540千円の返還支援を実施した。</p> <p>権利床の確保等について具体的な協議を進めた。</p> <p>ドローンを操縦できる職員を26名養成するとともに、山地災害危険区域の荒廃調査や道路の整備状況の確認など、様々な施策にてドローンを広く活用した。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>⑥大学生等応援給付金事業（28,915千円） 在学中の日本学生支援機構第一種奨学金の返還支援対象者や県大学生等奨学金の受給者が、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、世帯収入やアルバイト収入の減少等により、就学の継続が困難とならないよう、一時金を支給した。</p> <p>(2) 広域自治体連携推進事業（12,538千円）</p> <p>①県・市町広域連携推進事業（232千円） 人口減少が進む中、今後も県及び各市町が住民サービスを効果的・効率的に提供するとともに、新たな課題に対しても、より主体的に挑戦していけるよう、県と市町、市町間の柔軟な連携を推進するための広域連携勉強会を開催した。</p> <p>②地方分権改革推進事業等（8,954千円） 地方分権改革の推進を図るため、全国知事会や四国知事会等と連携した検討及び国への提案等を行った。</p> <p>③四国4県連携推進事業（3,352千円） 四国4県で、県境を越えた広域的課題に対応するとともに、地域の総合力の向上や行政としての効率的対応が期待できる交流・連携の取組みを推進した。</p>	<p>給付対象者 512 名に対し、一時金（50 千円～88 千円）を支給した。</p> <p>県と市町による広域連携勉強会を実施し、今後、同勉強会を通じて市町合併によらない、県と市町、市町間の連携について検討を進めていくこととなった。</p> <p>地方分権改革について、本県から 2 件を提案するとともに、四国知事会を通じて四国各県と 6 件の共同提案を行った。</p> <p>「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録の推進のほか 7 事業について、4 県が連携して実施した。</p>
<p>大学生等奨学事業（1-1-5）</p> <p>1. 趣旨・概要 意欲や能力が高く、経済的な理由で修学が困難な者に対し、奨学金を貸し付けることにより修学を容易にし、安心して子どもが育てられる環境づくりを進めるとともに、県内における優秀な人材の確保を図った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 大学生等奨学事業（121,705千円） 大学生等への奨学金貸付事業を実施するため、奨学金特別会計に経費を繰出し、同特別会計において、無利子奨学金の貸付を行った。</p> <p>貸付対象：県内に保護者が居住し、大学、高等専門学校（第4・5学年）又は専修学校（専門課程）等に在学する者で、意欲及び能力が高く、かつ、経済的な理由により修学することが困難の者</p> <p>貸付金額：194,574千円</p>	<p>令和2年度に新たに貸付けを開始した97名を加え、313名に無利子奨学金の貸付けを行った。</p> <p>また、480名から計73,597千円の返還があり、35名に対してUターン就職による返還額の一部免除（計23,280千円）を行った。</p>

2. 課総括表

課名：地域活力推進課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-2-1	政策立案推進事業	681	420		261	主要施策の成果の概要 (1-2-1)に記載
1-2-2	大学等魅力づくり支援事業	41,869	37,088		4,781	主要施策の成果の概要 (1-2-2)に記載
1-2-3	感染症に強い大学づくり推進事業	40,000	38,598		1,402	主要施策の成果の概要 (1-2-3)に記載
1-2-4	移住・定住促進事業	182,834	166,152		16,682	主要施策の成果の概要 (1-2-4)に記載
1-2-5	地域づくり推進事業	31,752	22,145		9,607	主要施策の成果の概要 (1-2-5)に記載
1-2-6	前向きに頑張る事業者を応援する総合補助事業	2,859,176	2,822,455	13,064	23,657	主要施策の成果の概要 (1-2-6)に記載
1-2-7	地域活力推進課運営費	101,501	101,367		134	地域活力推進課職員の給与費等 給料50,307、手当等31,722 共済費19,037
	課計	3,257,813	3,188,225	13,064	56,524	

3. 職員数の状況 (R3.3.31現在)

課名：地域活力推進課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
地域活力推進課	(1) 12	2	(1) 14	香川大学派遣1名
合計	(1) 12	2	(1) 14	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>政策立案推進事業（1-2-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 「第2期かがわ創生総合戦略」の着実な推進に向けて、地域の産官学金労言等の有識者等からの意見を求めるため、懇談会を開催した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) かがわ創生総合戦略推進事業（420千円） 令和2年3月に策定した「第2期かがわ創生総合戦略」の推進に向けて、地域の産官学金労言等の有識者からの意見を求めるため、懇談会を開催するなど、関係者と連携を図りながら、同戦略の推進に向けて取り組んだ。</p>	<p>令和2年11月に、地域の産官学金労言等の有識者で構成される第2期かがわ創生総合戦略推進懇談会を開催し、「第2期かがわ創生総合戦略」の着実な推進に向けて、意見を求めるなど、総合戦略の基本目標と重要業績評価指標の達成状況を適切に把握し、対策の効果を検証した。</p>												
<p>大学等魅力づくり支援事業（1-2-2）</p> <p>1. 趣旨・概要 県内大学等の、若者から選ばれる「魅力ある大学づくり」に向けた取組みについて支援を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 県内大学等と連携した若者県内定着促進支援事業（36,996千円） ①若者県内定着促進支援補助金（35,998千円） 県内大学等が企業等と連携し、若者の県内定着に資する取組みへの支援を行った。 ②大学等魅力づくり支援（998千円） 若者の県内定着促進を図るため、大学コンソーシアム香川において、県内大学等の情報を集約した「キャンパスガイド」の作成、県内大学等合同進学説明会など連携した広報活動等に取り組んだ。 (2) 専門職大学等支援検討事業（92千円） 専門職大学等について、情報収集や関係機関との協議、連絡調整等を行った。</p>	<p>3. 指標</p> <p>自県大学進学者の割合 (%)</p> <table border="1" data-bbox="943 837 1401 996"> <thead> <tr> <th>基準値 (H27)</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>目標値 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17.7</td> <td>16.8</td> <td>21.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>県内大学卒業生の県内就職率 (%)</p> <table border="1" data-bbox="943 1077 1401 1236"> <thead> <tr> <th>基準値 (H27)</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>目標値 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>42.8</td> <td>43.3</td> <td>52.0</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)	17.7	16.8	21.0	基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)	42.8	43.3	52.0
基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)											
17.7	16.8	21.0											
基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)											
42.8	43.3	52.0											
<p>感染症に強い大学づくり推進事業（1-2-3）</p> <p>1. 趣旨・概要 県内大学等が感染症に強い大学づくりを推進し、学生の修学環境の向上等を図り、ひいては大学等の魅力づくりに資する取組みについて支援を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (38,598千円) 県内大学等が行う①感染症拡大防止事業、②「新しい生活様式」実践事業、③感染症に強い修学環境整備事業、④留学生に対する感染症対策支援事業に要する経費の一部に対して補助を行った。</p>													

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																																				
<p>移住・定住促進事業（1-2-4）</p> <p>1. 趣旨・概要 大都市圏等からの移住・定住の促進を図るため、市町等と連携して、香川の魅力を積極的にPRするとともに、受入体制の整備・充実に向けた取組みを行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 市町連携等移住・定住促進事業（5,841千円） ①香川県移住・定住推進協議会事業（5,000千円） 市町との連携による移住フェアや、地域別に移住者交流会を開催し、移住者が定住できる環境整備を図った。 ②四国4県等連携等移住促進事業（841千円） 香川の魅力を積極的にPRするため、近県と連携し、四国4県移住フェア等を開催した。</p> <p>(2) かがわ暮らし魅力発信事業（7,680千円） 移住専門誌や移住ポータルサイトなどを活用して、香川の魅力や生活情報、生活スタイルを全国に向けて広く発信した。</p> <p>(3) ワンストップ移住相談窓口サービス提供事業（27,011千円） 就職・移住支援センター、東京事務所、大阪事務所、ふるさと回帰支援センターに移住相談窓口を設けて、移住相談に対するワンストップサービスを提供した。</p> <p>(4) 東京圏U J I ターン就職等推進事業（5,826千円） 地方創生推進交付金を活用し、東京圏から本県に移住し、県内中小企業等に就職した者に対して、移住支援金を交付した。</p> <p>(5) 地域活性化U J I ターン促進事業（41,865千円） ①大都市圏U J I ターン転職相談事業・県外大学訪問及び父母会等連携事業（3,064千円） 東京・大阪においてUターン転職相談会や学生向けUターン就職支援セミナーを開催するとともに、県内における保護者向けセミナーの開催などによる就職情報の提供を行った。 ②香川に帰ろう！協定大学Uターン就職促進事業（1,148千円） 就職支援協定締結校等の学生に向けて、Uターン就職したOB・OGが講演を行うシンポジウムを開催する等、協定校との連携強化を図り、Uターン就職の促進に取り組んだ。 ③Uターン・県内就職促進情報発信・調査事業（3,798千円） 県外大学進学者のUターン就職と県内大学進学者の地元就職を促進するため、かがわ暮らしの魅力等を紹介するパンフレットを作成し、配布を希望する学生の実家に送付した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>人口の社会増減（暦年） (人)</p> <table border="1" data-bbox="943 315 1401 454"> <thead> <tr> <th>基準値 (H27)</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>目標値 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>481</td> <td>▲1,381</td> <td>▲180</td> </tr> </tbody> </table> <p>移住に関する相談件数〔累計〕 (件)</p> <table border="1" data-bbox="943 528 1401 685"> <thead> <tr> <th>基準値 (H23～27)</th> <th>実績値 (H28～R2)</th> <th>目標値 (H28～R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,526</td> <td>19,811</td> <td>18,900</td> </tr> </tbody> </table> <p>県外からの移住者数〔累計〕 (人)</p> <table border="1" data-bbox="943 763 1401 920"> <thead> <tr> <th>基準値 (H23～27)</th> <th>実績値 (H28～R2)</th> <th>目標値 (H28～R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>8,951</td> <td>8,020</td> </tr> </tbody> </table> <p>①東京セミナー参加者</p> <table data-bbox="963 1435 1350 1666"> <tr> <td>社会人向け</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>学生向け</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>大阪セミナー参加者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>社会人向け</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>学生向け</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>保護者向けセミナー参加者</td> <td>35人</td> </tr> </table> <p>②参加者</p> <table data-bbox="1219 1715 1350 1823"> <tr> <td>大阪</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>東京</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>参加企業等</td> <td>6法人</td> </tr> </table>	基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)	481	▲1,381	▲180	基準値 (H23～27)	実績値 (H28～R2)	目標値 (H28～R2)	4,526	19,811	18,900	基準値 (H23～27)	実績値 (H28～R2)	目標値 (H28～R2)	—	8,951	8,020	社会人向け	50人	学生向け	11人	大阪セミナー参加者		社会人向け	27人	学生向け	23人	保護者向けセミナー参加者	35人	大阪	17人	東京	3人	参加企業等	6法人
基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)																																			
481	▲1,381	▲180																																			
基準値 (H23～27)	実績値 (H28～R2)	目標値 (H28～R2)																																			
4,526	19,811	18,900																																			
基準値 (H23～27)	実績値 (H28～R2)	目標値 (H28～R2)																																			
—	8,951	8,020																																			
社会人向け	50人																																				
学生向け	11人																																				
大阪セミナー参加者																																					
社会人向け	27人																																				
学生向け	23人																																				
保護者向けセミナー参加者	35人																																				
大阪	17人																																				
東京	3人																																				
参加企業等	6法人																																				

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>④プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業（33,855千円） 「プロフェッショナル人材戦略拠点」の運営を公益財団法人かがわ産業支援財団へ委託し、県外の潜在的なUJIターン希望者等と地域企業の求人とのマッチングを促進した。</p> <p>(6) 香川に移住！民間賃貸住宅借上げ支援事業（39,400千円） 香川に移住し、民間賃貸住宅に居住する場合に、市町と連携し、家賃と礼金等の一部を助成した。</p> <p>(7) 空き家バンク運営事業（38,529千円） 空き家バンクへの登録を条件として、市町と連携し、空き家の改修・家財の処分費等に対して助成するとともに、空き家バンクへ登録する際に、建築士による無料の個別相談や現地確認、助言を行った。</p> <p>(8) 定住支援サポーター設置事業 移住後の相談窓口となる「定住支援サポーター」を引き続き設置するなど、移住促進施策との相互連携を図りつつ定住支援の充実に努めた。</p>	<p>④人材マッチング成約者（97人）のうち県外人材 58人</p> <p>家賃補助 480件 礼金等補助 204件</p> <p>空き家改修補助 82件 家財処分補助 11件 建築士による無料の個別相談 37件</p>						
<p>地域づくり推進事業（1-2-5）</p> <p>1. 趣旨・概要 魅力ある地域づくりに向けて、地域住民等が主体となった地域づくり活動の推進に努めた。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 地域コミュニティ活性化支援事業（11,977千円） 個性豊かで活力ある地域づくりを推進するため、地域づくり団体が新たに取り組む魅力ある地域づくりに対して経費の一部を助成するとともに、地域づくり実践者等を対象とした研修会を開催した。 また、県の地域おこし協力隊が中心となって、県内で地域づくり活動に取り組む団体等の情報発信等を行った。</p> <p>(2) 市町地域づくりモデル事業（7,974千円） 地域活力の向上を図るため市町が取り組む先進的又はモデル的な事業に対し、その経費の一部を助成した。</p> <p>(3) 関係人口創出・拡大事業（651千円） 複数の地域で、地域住民や地域づくり団体等が主体となって地域の歴史や未来について話し合い、地域の未来のために必要な関係人口のイメージを持つためのワークショップを開催し、地域の受け入れ環境の整備等を行った。また、県内の地域づくり団体や市町の地域コミュニティ担当者向けに関係人口に係る勉強会を開催し、県外事例の紹介等を通じて効果的な関係人口創出に向けた理解醸成を図った。</p>	<p>3. 指標 県内で活動する地域おこし協力隊員数 (人)</p> <table border="1" data-bbox="943 1151 1401 1312"> <thead> <tr> <th>基準値 (H27)</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>目標値 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19</td> <td>45</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)	19	45	33
基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)					
19	45	33					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>(4) 過疎地域対策事業 (358 千円) 過疎地域自立促進特別措置法により指定された市町における、地域資源を活用し過疎地域の自立促進を図る取組みを支援した。</p> <p>(5) 離島活性化推進等事業 (1,185 千円) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、対面での交流イベント等については実施できなかったものの、離島情報誌へ県内離島への移住体験等の特集記事を掲載する等、積極的な情報発信を行った。</p>													
<p>前向きに頑張る事業者を応援する総合補助事業 (1-2-6)</p> <p>1. 趣旨・概要 厳しい経営環境の中にあっても、本県の社会経済活動の回復や感染症に強い香川づくりに向けて、前向きに創意工夫を凝らして挑戦する事業者を応援するため、「前向きに頑張る事業者を応援する総合補助金」を創設した。</p> <p>2. 具体的内容 (2,822,455 千円) 県内の事業者が、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受け、本県の経済の回復・活性化と感染症に強い社会・経済構造の構築の両立を図ることを目的に、前向きに創意工夫を凝らして挑戦する社会経済活動の回復や感染症に強い香川づくりに向けた取組みに要する経費の一部に対して補助を行った。 また、事業実施後、活用事例を公表し、広く横展開を図った。</p>	<p>交付金額</p> <table border="0"> <tr> <td>Aタイプ</td> <td>916件</td> <td>560,690千円</td> </tr> <tr> <td>Bタイプ</td> <td>473件</td> <td>1,104,637千円</td> </tr> <tr> <td>Cタイプ</td> <td>107件</td> <td>1,155,576千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,496件</td> <td>2,820,903千円</td> </tr> </table>	Aタイプ	916件	560,690千円	Bタイプ	473件	1,104,637千円	Cタイプ	107件	1,155,576千円	計	1,496件	2,820,903千円
Aタイプ	916件	560,690千円											
Bタイプ	473件	1,104,637千円											
Cタイプ	107件	1,155,576千円											
計	1,496件	2,820,903千円											

2. 課総括表

課名：予算課

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-3-1	予算課運営費	171,631	169,085		2,546	予算課の運営に要する経費等 給料81,261、職員手当等50,023、 共済費33,803
1-3-2	予算調整事業費	5,854,209	5,853,704		505	予算調整にかかる事務等に要する 経費 基金積立金5,845,409
1-3-3	元金（公債費）	54,835,058	54,835,058			一般会計県債の償還元金
1-3-4	利子（公債費）	4,877,600	4,849,598		28,002	一般会計県債の利子及び一時借入 金の利子
1-3-5	公債諸費	34,734	34,343		391	県債の借入及び償還事務等に要す る経費
1-3-6	予備費	50,000			50,000	
	課計	65,823,232	65,741,788		81,444	

3. 職員数の状況（R3.3.31現在）

課名：予算課

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
予算課	21		21	
合計	21		21	

2. 課総括表

課名：自治振興課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-4-1	小豆総合事務所運営費	85,360	84,243		1,117	小豆総合事務所の運営に要する経費 給料30,731、職員手当等22,810、共済費11,442
1-4-2	香川県権限移譲等交付金事業	80,843	80,792		51	県の権限の市町への移譲等に伴う交付金
1-4-3	住民基本台帳ネットワークシステム運営事業	54,560	54,328		232	住民基本台帳ネットワークシステムの運営に要する経費
1-4-4	マイナンバーカード普及促進事業	328	291		37	マイナンバーカード普及促進に要する経費
1-4-5	自治振興課運営費	280,295	280,295			自治振興課の運営に要する経費 給料123,861、職員手当等77,810、共済費46,243
1-4-6	市町職員研修費	10,293	10,293			市町職員の研修に要する経費
1-4-7	市町行財政税務連絡調整費	2,443	2,009		434	市町行財政等の連絡調整等に要する経費
1-4-8	市町振興費	107,978	106,631		1,347	主要施策の成果の概要(1-4-8)に記載
1-4-9	市町村振興宝くじ交付金	365,991	365,991			主要施策の成果の概要(1-4-9)に記載
1-4-10	地域活性化推進事業	295	295			地域コミュニティ活性化促進に要する経費
1-4-11	選挙管理委員会費	21,326	20,967		359	県選挙管理委員会の運営に要する経費 給料9,721、職員手当等4,615、共済費3,168、委員報酬3,141
1-4-12	選挙啓発費	3,906	3,675		231	選挙常時啓発事業等の推進に要する経費
1-4-13	自治振興資金貸付事業					主要施策の成果の概要(1-4-13)に記載
	課計	1,013,618	1,009,810		3,808	

3. 職員数の状況 (R3. 3. 31現在)

課名：自治振興課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
自治振興課	[1] (18) 20	[7] 8	[8] (18) 28	市町派遣職員18名、選挙管理委員会事務局併任職員2名
小豆総合事務所総務課	[1] (2) 8	7	[1] (2) 15	
合計	[2] (20) 28	[7] 15	[9] (20) 43	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を [] 内書きにより、当該所属以外で勤務する者を () 外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>市町振興費（1－4－8）</p> <p>1. 趣旨・概要 市町が多岐にわたる行政需要に対応し、適切な財政運営ができるよう、法令等の解説、特定の課題解決に向けた助言、情報提供を行うとともに、地方創生に資する事業に要する経費の交付を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 健康に着目した野菜の次世代栽培システム普及促進事業 県と連携して地方創生に関する事業を実施する自治体に対する支援を実施した。</p> <p>(2) 市町行財政運営費等（106,631千円） 市町の行財政、公営企業及び一部事務組合の連絡調整等を行った。</p>	<p>先端技術を有する理化学研究所と連携して構築した植物栽培システムに関するこれまでの事業成果について、その普及及び民間事業者による活用促進に取り組む土庄町に対する支援を行った（なお、交付金については、交付金対象事業に充当すべき収入額が交付金対象事業費を上回ったため、交付額は0円に確定。）。</p> <p>市町の行財政運営は、適切に進められており、令和2年度普通会計決算における実質収支は全ての市町で黒字となる見込みである。</p>
<p>市町村振興宝くじ交付金（1－4－9）</p> <p>1. 趣旨・概要 市町村振興宝くじ（サマージャンボ宝くじ等）及び新市町村振興宝くじ（ハロウィンジャンボ宝くじ等）の収益金等の全額 365,991 千円を、市町の財源等として活用するため（公財）香川県市町村振興協会に交付した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 収益金等の内訳 令和2年度収益金 343,465 千円 令和元年度時効金 22,526 千円</p> <p>(2) （公財）香川県市町村振興協会の事業 県からの交付金を受け入れ、市町が公共事業等を行うための地方債資金等として活用したほか、市町に交付金として配分した。</p>	<p>県から（公財）香川県市町村振興協会へ交付したサマージャンボ宝くじ収益金等254,133千円は市町への低利の地方債資金等として活用され、また、ハロウィンジャンボ宝くじ収益金等は全額111,858千円が市町に配分され、市町の一般財源として活用された。</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価																								
<p>自治振興資金貸付事業（吉野川総合開発香川用水建設事業特別会計事業）（1-4-13）</p> <p>1. 趣旨・概要 市町及び一部事務組合が実施する公共施設整備事業、その他知事が市町等の振興のため必要と認める事業に要する経費に充てるため、吉野川総合開発香川用水建設事業特別会計から、6市町に対し、216,300千円の貸付けを行った。また、6市町からの元利償還金175,565千円を受け入れた。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 貸付利率（令和2年度貸付分） 一般分 年利0.04% 特別分 年利0.02% (過疎・準過疎団体分、市町合併推進分、災害緊急対策分など知事が特に必要があると認める事業)</p> <p>(2) 償還期限 原則10年（うち据置1年） 過疎・準過疎団体分 12年（うち据置1年）</p> <p>(3) 償還方法 元利均等年賦償還</p> <p>(4) 貸付状況 (単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="209 1245 868 1585"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>貸付市町数</th> <th>貸付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教育文化施設</td> <td>5</td> <td>99,300</td> </tr> <tr> <td>生活環境施設</td> <td>1</td> <td>29,800</td> </tr> <tr> <td>土木関係施設</td> <td>2</td> <td>13,700</td> </tr> <tr> <td>厚生福祉施設</td> <td>1</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>スポーツ・レクリエーション施設</td> <td>2</td> <td>22,300</td> </tr> <tr> <td>合併促進事業</td> <td>1</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>(6) 12</td> <td>216,300</td> </tr> </tbody> </table> <p>※貸付市町数の合計欄の（ ）内は実市町数</p>	区 分	貸付市町数	貸付額	教育文化施設	5	99,300	生活環境施設	1	29,800	土木関係施設	2	13,700	厚生福祉施設	1	1,200	スポーツ・レクリエーション施設	2	22,300	合併促進事業	1	50,000	合 計	(6) 12	216,300	<p>市町等が実施する公共施設の整備等に要する経費の一部を貸し付けることにより、市町等における行政水準の向上と住民福祉の増進に寄与した。</p>
区 分	貸付市町数	貸付額																							
教育文化施設	5	99,300																							
生活環境施設	1	29,800																							
土木関係施設	2	13,700																							
厚生福祉施設	1	1,200																							
スポーツ・レクリエーション施設	2	22,300																							
合併促進事業	1	50,000																							
合 計	(6) 12	216,300																							

2. 課総括表

課名：水資源対策課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-5-1	水資源対策の推進	(894, 126) 2, 237, 358	(894, 126) 1, 700, 771	515, 457	21, 130	主要施策の成果の概要 (1-5-1) に記載
1-5-2	全国水利用動態調査費	716	716			国からの委託による水資源対策に関する資料の収集整理に要する経費
1-5-3	水資源対策課運営費	771, 124	764, 315		6, 809	水資源対策課の運営等に要する経費 給料380, 448、職員手当等244, 669、共済費132, 607
1-5-4	かがわ水循環社会形成事業	599	261		338	水の有効利用の促進と節水意識の高揚を図るための取組み検討に要する経費
1-5-5	水道法施行等指導事業	1, 125	1, 043		82	水道法施行等指導事務費
	課計	(894, 126) 3, 010, 922	(894, 126) 2, 467, 106	515, 457	28, 359	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R3. 3. 31現在)

課名：水資源対策課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
水資源対策課	9	(88) 2	(88) 11	香川県広域水道企業団派遣88名 (うち育児休業1名、休職1名)
合計	9	(88) 2	(88) 11	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属以外で勤務する者を()外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>水資源対策の推進（1-5-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 安心して暮らせる水循環社会の確立をめざして安全な水の安定的供給に資する事業など総合的な水資源対策を推進した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 香川用水水源の森保全事業（21,031千円） 香川用水の水源地域である吉野川上流域の森林の水源かん養機能を保持するため、高知県嶺北地域で行われた森林の除間伐等に対し助成した。</p> <p>(2) 香川用水の水源巡りの旅事業（1,107千円） 香川用水や水資源の重要性についての認識を深めるとともに、水源地域との交流を促進するため、中学1年生が早明浦ダム等の香川用水関連施設を見学する学校行事を支援した。</p> <p>(3) 水道施設整備事業（1,677,823千円） 新たな水道水源を確保するためのダム開発や老朽化した水道施設の更新・耐震化など、香川県広域水道企業団が行う水道施設整備事業に対し助成を行った。 ①水道水源開発施設整備事業（220,068千円） ②生活基盤施設耐震化等交付金事業（1,457,739千円） ③市町水道渇水対策事業（16千円）</p> <p>(4) 節水型街づくり推進事業（810千円） 水の有効利用を図るため、要綱に基づき雑用水利用施設の設置指導を行うとともに、県民の節水意識を高めるため、節水型街づくり推進協議会を通じて各種啓発活動を実施した。</p>	<p>3. 指標</p> <p>県内水道施設（基幹的な水道管）の耐震化率（%）</p> <table border="1" data-bbox="941 353 1404 497"> <thead> <tr> <th>基準値 (H26)</th> <th>実績値 (R1)</th> <th>目標値 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14.5</td> <td>23.3</td> <td>21.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>水道の一人一日当たり生活用平均給水量（ℓ/人・日）</p> <table border="1" data-bbox="941 616 1404 759"> <thead> <tr> <th>基準値 (H26)</th> <th>実績値 (R1)</th> <th>目標値 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>228</td> <td>231</td> <td>226以下</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (H26)	実績値 (R1)	目標値 (R2)	14.5	23.3	21.6	基準値 (H26)	実績値 (R1)	目標値 (R2)	228	231	226以下
基準値 (H26)	実績値 (R1)	目標値 (R2)											
14.5	23.3	21.6											
基準値 (H26)	実績値 (R1)	目標値 (R2)											
228	231	226以下											

2. 課総括表

課名：統計調査課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-6-1	統計調査総務費	190,432	187,701		2,731	統計専任職員の給与費及び事務費等 給料96,011、職員手当等52,921、共済費31,892
1-6-2	人口経済統計費	495,393	460,353		35,040	総務省所管基幹統計調査等に要する経費
1-6-3	労働統計費	14,732	12,136		2,596	厚生労働省所管基幹統計調査に要する経費
1-6-4	農林水産統計費	9,174	7,740		1,434	農林水産省所管基幹統計調査に要する経費
1-6-5	商工統計費	1,254	1,253		1	経済産業省所管基幹統計調査に要する経費
1-6-6	教育統計費	910	565		345	文部科学省所管基幹統計調査に要する経費
1-6-7	地方統計費	1,364	1,053		311	県単独調査、統計資料作成に要する経費
	課計	713,259	670,801		42,458	

3. 職員数の状況 (R3.3.31現在)

課名：統計調査課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
統計調査課	26	4	30	育児休業2名
合計	26	4	30	

2. 課総括表

課名：男女参画・県民活動課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-7-1	共助の社会創造事業	70,582	69,045		1,537	主要施策の成果の概要 (1-7-1)に記載
1-7-2	男女参画・県民活動課運営費	49,303	49,186		117	男女参画・県民活動課の運営に要する経費 給料25,457、職員手当等15,015、共済費8,453
1-7-3	男女共同参画社会形成促進事業	9,723	9,284		439	主要施策の成果の概要 (1-7-3)に記載
1-7-4	女性活躍促進事業	19,237	17,836		1,401	主要施策の成果の概要 (1-7-4)に記載
	課計	148,845	145,351		3,494	

3. 職員数の状況 (R3. 3. 31現在)

課名：男女参画・県民活動課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
男女参画・県民活動課	6	[1] 3	[1] 9	
合計	6	[1] 3	[1] 9	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を [] 内書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>共助の社会創造事業（1-7-1）</p> <p>1. 趣旨・概要 地域団体活動やボランティア・NPO活動の促進、県民・NPOとの協働の推進、共助意識の啓発など、「共助の社会」の実現に向けての取組みを進めた。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 共助の社会きっかけづくり事業（36千円） ホームページ「かがわ共助のひろば」や総合受付窓口「NPOネットワークプラザ」の運営等により、ボランティア・NPO活動情報や社会貢献活動の情報を収集、発信し、共助の社会づくりについて普及啓発事業を行った。</p> <p>(2) 共助の社会ひろがりづくり事業（88千円） ①ボランティア・NPO活動促進事業 優れたボランティア活動に対する顕彰を行い、受賞活動を広く周知した。</p> <p>(3) NPO法人運営のためのステップアップ事業（447千円） NPO法人の運営を支援するため、相談窓口を開設し、様々な相談に対応するとともに、専門家の派遣を行った。</p> <p>(4) 災害ボランティア等との連携強化事業（87千円） 被災地において、災害ボランティアが効率的かつ効果的に活動するため、「災害ボランティアセンター」の設置に関する訓練をとおして、行政、社会福祉協議会等関係機関との連携を図った。</p> <p>(5) NPO法人活動促進事業（605千円） ①NPO法人認証等事業 NPO法人の設立認証及び設立後の指導監督を行った。 ②認定NPO法人等認定等事業 「認定NPO法人」及び「特例認定NPO法人」の認定等に関する事務を行った。</p> <p>(6) NPO基金管理運営事業（67,782千円） 個人や企業からの寄附金を「香川県特定非営利活動促進基金（NPO基金）」に積み立て、これを財源としてNPOの活動資金を助成した。</p>	<p>3. 指標 ボランティア活動をしたことがある人の割合（%）</p> <table border="1" data-bbox="938 353 1401 517"> <thead> <tr> <th>基準値 (H27)</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>目標値 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47.5</td> <td>45.3</td> <td>55.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>ボランティア大賞受賞者 一般部門 3団体 企業部門 1団体</p> <p>NPO等の相談窓口事業 25件 開設回数 6回 専門家派遣件数 1件</p> <p>参加者：香川県、坂出市、香川県社会福祉協議会、坂出市社会福祉協議会、日本赤十字社香川県支部、坂出青年会議所、香川大学</p> <p>①NPO法人数（年度末） 391法人</p> <p>②認定（特例認定）NPO法人数（年度末） 認定 7法人 特例認定 1法人</p> <p>NPO基金登録団体数（年度末） 48団体</p> <p>補助金額 1,522,345円（5団体）</p>	基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)	47.5	45.3	55.0
基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)					
47.5	45.3	55.0					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価												
<p>男女共同参画社会形成促進事業（1－7－3）</p> <p>1. 趣旨・概要 「香川県男女共同参画推進条例」を基本指針として、男女共同参画社会の形成と豊かで活力ある地域社会の実現を目指し、「第3次かがわ男女共同参画プラン」及び「第3次香川県配偶者暴力防止及び被害者支援計画」に基づく各種事業を実施した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 男女共同参画社会づくり推進事業（473千円）</p> <p>①男女共同参画広報啓発事業 「第3次かがわ男女共同参画プラン」及び「第3次香川県配偶者暴力防止及び被害者支援計画」の周知や男女共同参画週間等におけるパネル展の開催など、男女共同参画意識の醸成のための広報啓発を行った。</p> <p>②男女共同参画推進員事業 地域で男女共同参画を推進するため、「かがわ男女共同参画推進員」42名（各市3名、各町2名）を配置し、推進活動を展開した。</p> <p>③配偶者暴力防止啓発事業 啓発用リーフレット等を活用して、配偶者からの暴力を許さない社会づくりに向けた広報啓発を行った。</p> <p>(2) 男女共同参画相談プラザ事業（8,811千円） 香川県社会福祉総合センター3階の「かがわ男女共同参画相談プラザ」において、男女共同参画の視点から、性別による差別的取扱いなどに関する県民の悩みや相談に適切に対応するとともに情報提供などを行った。</p>	<p>3. 指標 男女共同参画の推進に関する講演会 男性参加者数〔累計〕 (人)</p> <table border="1" data-bbox="914 353 1412 510"> <thead> <tr> <th>基準値 (H23～27)</th> <th>実績値 (H28～R2)</th> <th>目標値 (H28～R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,155</td> <td>853</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>参考 H28：269人、H29：334人、H30：149人 R1：87人、R2：14人</p> <p>DV予防啓発講演会の参加者数〔累計〕 (人)</p> <table border="1" data-bbox="914 1120 1412 1276"> <thead> <tr> <th>基準値 (H23～27)</th> <th>実績値 (H28～R2)</th> <th>目標値 (H28～R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>788</td> <td>667</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table> <p>参考 H28：152人、H29：279人、H30：119人 R1：117人、R2：開催なし</p> <p>かがわ男女共同参画相談プラザ相談件数 1,599件 (女性1,288件、男性311件) (一般相談1,599件、特別相談0件)</p>	基準値 (H23～27)	実績値 (H28～R2)	目標値 (H28～R2)	1,155	853	1,000	基準値 (H23～27)	実績値 (H28～R2)	目標値 (H28～R2)	788	667	900
基準値 (H23～27)	実績値 (H28～R2)	目標値 (H28～R2)											
1,155	853	1,000											
基準値 (H23～27)	実績値 (H28～R2)	目標値 (H28～R2)											
788	667	900											

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>女性活躍促進事業（1-7-4）</p> <p>1. 趣旨・概要 女性が活躍するために必要な情報を得られる環境をつくとともに、講演会等を開催して意識啓発を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 情報発信事業（264千円） 女性の活躍について情報を発信する特設ホームページ「かがわ女性の輝き応援団」において、県内女性の活躍に関する情報等の幅広い発信を行った。</p> <p>(2) 男女共同参画における課題解決活動支援事業（1,258千円） 地域における男女共同参画を推進するための課題解決に向けた活動を広く公募し、セミナー等を実施した。</p> <p>(3) 女性リーダー養成事業等（1,084千円） 政策・方針決定過程など様々な分野へ参画し、リーダーとして責任を果たせる人材を養成するため、「女性リーダー養成講座」として連続4回の講座等を実施した。</p> <p>(4) 男女共同参画協働事業（718千円） 男女共同参画に関する特定課題について、NPO、地域団体等から提案のあった事業を協働して実施することにより、地域リーダー等の資質の向上を図るとともに、男女共同参画の視点からの課題解決に取り組んだ。</p> <p>(5) 性暴力被害者支援センター「オリーブかがわ」運営事業（14,512千円） 女性の安全・安心対策を推進するため、性暴力被害者支援センター「オリーブかがわ」を運営した。</p>	<p>3. 指標 男女共同参画の推進に関する講演会 男性参加者数〔累計〕（再掲）（人）</p> <table border="1" data-bbox="914 353 1414 517"> <thead> <tr> <th>基準値 (H23~27)</th> <th>実績値 (H28~R2)</th> <th>目標値 (H28~R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,155</td> <td>853</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>参考 H28：269人、H29：334人、H30：149人 R1：87人、R2：14人</p> <p>男女共同参画における課題解決活動支援事業参加者数 3活動 124人</p> <p>女性リーダー養成事業参加者数 41人</p> <p>男女共同参画協働事業参加者数 111人</p> <p>相談実績 相談件数 399件 付添支援 21件</p>	基準値 (H23~27)	実績値 (H28~R2)	目標値 (H28~R2)	1,155	853	1,000
基準値 (H23~27)	実績値 (H28~R2)	目標値 (H28~R2)					
1,155	853	1,000					

2. 課総括表

課名：文化振興課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-8-1	職員給与費 (文化振興課)	141,598	141,502		96	文化振興課職員の給与費 給料71,280、職員手当等44,815、 共済費25,407
1-8-2	文化芸術総務費	8,744	8,594		150	主要施策の成果の概要 (1-8-2)に記載
1-8-3	文化芸術活動振 興事業	10,632	9,395		1,237	主要施策の成果の概要 (1-8-3)に記載
1-8-4	断トツアート推 進事業	6,064	5,613		451	主要施策の成果の概要 (1-8-4)に記載
1-8-5	さぬき映画祭事 業	14,000	10,658		3,342	主要施策の成果の概要 (1-8-5)に記載
1-8-6	県民ホール事業	(12,060) 325,570	(7,108) 310,952	3,644	(4,952) 10,974	主要施策の成果の概要 (1-8-6)に記載
1-8-7	県立ミュージア ム事業	560,961	486,709	67,200	7,052	主要施策の成果の概要 (1-8-7)に記載
1-8-8	東山魁夷せとう ち美術館事業	62,408	61,503		905	東山魁夷せとうち美術館の運営等 に要する経費 給料13,907、職員 手当等8,903、共済費4,827
1-8-9	漆芸研究所事業	76,268	73,601		2,667	漆芸研究所の運営等に要する経費 給料21,777、職員手当等11,114、 共済費7,131
1-8-10	香川漆芸活性化 推進事業	11,813	10,415		1,398	主要施策の成果の概要 (1-8-10)に記載
1-8-11	世界遺産登録推 進事業	13,648	12,778		870	主要施策の成果の概要 (1-8-11)に記載
1-8-12	新しい生活様式 のもと頑張る文化 芸術活動支援事業	34,215	10,981	20,900	2,334	主要施策の成果の概要 (1-8-12)に記載
1-8-13	香川県文化芸術 振興基金事業	200,000	200,000			文化芸術の振興のための財源を確 保するため、香川県文化芸術振興 基金へ積み立てるもの
	課計	(12,060) 1,465,921	(7,108) 1,342,701		(4,952) 31,476	

行上段の()内は、前年度からの繰越額の再掲。

3. 職員数の状況 (R3. 3. 31現在)

課名：文化振興課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
文化振興課	(1) 17	[2] 3	[2] (1) 20	
県立ミュージアム	(4) 25	[2] (1) 9	[2] (5) 34	育児休業1名
東山魁夷せとうち美術館	[1] 3	1	[1] 4	
漆芸研究所	[3] 5	[1] (3) 14	[4] (3) 19	
合計	[4] (5) 50	[5] (4) 27	[9] (9) 77	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を [] 内書きにより、当該所属以外で勤務する者を () 外書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>文化芸術総務費（1－8－2）</p> <p>1. 趣旨・概要 文化振興課等の運営にかかる経費の執行や、文化施設の感染症予防のための物品を整備した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 文化施設感染症予防事業（936 千円） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県民ホールに赤外線カメラを設置するとともに、県立ミュージアム（本館・分館）や東山魁夷せとうち美術館に、感染防止対策用品を整え付けた。</p> <p>(2) 文化芸術総務費（7,658 千円） 文化振興課の運営に要する経費</p>	<p>効果・評価</p> <p>県民ホール ・赤外線カメラ一式</p> <p>県立ミュージアム（本館・分館）、東山魁夷せとうち美術館 ・非接触型体温計・消毒液の設置等</p>
<p>文化芸術活動振興事業（1－8－3）</p> <p>1. 趣旨・概要 本県の文化芸術の振興を図るため、文化表彰等の事業を実施した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 文化表彰事業（8,492 千円） 文化功労者2名、文化芸術選奨2名・1団体を決定し表彰した。将来、県の文化芸術の振興に貢献することが期待される若手芸術家3名に文化芸術新人賞を授与するとともに、平成27年度受賞者（美術分野1名）の作品展を県立ミュージアムで開催した。また、文化芸術振興審議会の開催等を行った。</p> <p>(2) 「日本青少年交響楽団」香川大会開催事業（903 千円） （公社）日本アマチュアオーケストラ連盟が令和3年度、本県で開催する「日本青少年交響楽団」コンサートの合同練習会（トヨタ青少年オーケストラキャンプ）の支援を行った。 全国6会場をオンラインで繋ぎ、ホスト楽団を担う「かがわジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ（KJO）」団員を中心に、本県の児童・生徒等が東京会場の指導者から、リモートで指導を受けた。</p>	<p>効果・評価</p> <p>県立ミュージアム秋季特別展「語る武具」にあわせて文化芸術新人賞受賞者の作品を展示するとともに、トークイベントを開催した。 展覧会入場者数 4,748 名 トークイベント ・10月24日（土）参加者 93名 ・11月14日（土）参加者100名</p> <p>開催日：3月25日（木）～28日（日）</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>断トツアート推進事業（1－8－4）</p> <p>1. 趣旨・概要 地域の文化芸術を担う人材の育成や地域住民が文化芸術に親しむ機会を提供するため、展覧会やワークショップ等を実施した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 断トツアート・ファシリテーター育成事業(1,520千円) 東京藝術大学と連携し、同大学のファシリテーター（講師）による、高校生対象のアートワークショップを2回開催した。 また、同大学美術学部長の講演会が新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止となったことから、講義を収録したDVDを作成し、中学校2校（善通寺市立東中学校・西中学校）へ配付した。</p> <p>(2) 芸大連携美術展開催事業（4,093千円） 東京藝術大学と連携し、「TURN on the EARTH ～わたしはちきゅうのこだま～善通寺展」を開催した。旧善通寺偕行社での作品展示に加え、偕行社の三次元空間をインターネット上に公開し、展覧会会場と連動させたバーチャル展覧会も開催した。</p>	<p>第1回：8月6日（木） 旧善通寺偕行社 県立善通寺第一高校デザイン科 15名</p> <p>第2回：2月5日（金） 県立善通寺第一高校 県立善通寺第一高校デザイン科 60名</p> <p>開催日：2月21日（日）～3月7日（日） 入場者数 1,827名 ホームページアクセス数 1,002件 東京藝術大学のアーティストからリモートで指示を仰ぎ、香川大学生や地元の高校生など、多くの地域住民と協働して作品の制作を行った。</p>
<p>さぬき映画祭事業（1－8－5）</p> <p>1. 趣旨・概要 映画・映像による地域文化の振興と地域の活性化を図るため、「さぬき映画祭」を開催した。上映会及びオンラインによる関連イベントを実施し、映画が持つ多彩な魅力や可能性を提供した。</p> <p>2. 具体的内容（10,658千円） (1) 映画祭2021の上映会及び関連イベントの開催 映画祭とともに成長し、香川の映像・映画文化の担い手として活躍している方々の作品や、香川県でロケが行われた作品など、「さぬき」にまつわる作品の上映に加え、オンライン配信もあわせて開催した。 また、映画の楽しみ方を学ぶ機会として、「オンライン講座」を実施した。</p> <p>(2) さぬきストーリー・プロジェクト（SSP） 映像制作を通じた香川の魅力発信を図るため、香川にまつわる面白いエピソードなどのストーリーを募集し、さらにそのストーリーを元にした「ショートムービー」のコンペティションを実施した。</p>	<p>2月13日、14日の2日間開催 入場者数 558名 オンライン再生回数 4,049回 上映作品数 15本 （うちSSPショートムービー10本） オンライン講座 5講座</p> <p>「ショートムービー」応募数 26作品</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>(3) シナリオコンクール 映画化を前提としたシナリオ執筆者の裾野をより広げるため、香川県在住者もしくは出身者を対象としたシナリオコンクールを実施した。</p> <p>(4) シナリオ講座 プロのシナリオライターや映画監督を講師として招き、シナリオ技術を学ぶシナリオ講座を実施した。</p>	<p>シナリオコンクール応募数 35 作品</p> <p>シナリオ講座受講者数 20 名 (全7回)</p>
<p>県民ホール事業（1－8－6）</p> <p>1. 趣旨・概要 県民ホールにおいて、県民のニーズに沿った音楽や舞踊などの優れた舞台芸術を鑑賞する機会の充実を図るために、文化事業や指定管理による施設運営を行った。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 県民ホール文化事業（8,709千円）</p> <p>①舞台芸術鑑賞事業 「かがわジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ（KJO）第19回定期演奏会（卒団セレモニー）」、「かがわジュニア・フレンドシップ・チェンバーオーケストラ（KFC）第4回演奏会」の舞台芸術公演を開催した。</p> <p>②舞台芸術人材育成事業 ジュニア・オーケストラの育成を図るとともに、東京藝術大学連携事業「かがわ音楽アカデミー」のコンクール及び公開講座は中止したが、同大学の「早期教育プロジェクト in 香川」をリモートで実施し、県内の児童・生徒5名が、国内外の第一線で活躍する指導者から直接指導を受ける貴重な機会を得た。</p> <p>③地域文化活性化事業 「かがわ郷土芸能フェスタ」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。</p> <p>(2) 県民ホール管理運営費（234,259千円） 指定管理者により施設管理及び運営を実施した。</p> <p>(3) 県民ホール舞台業務委託事業（53,836千円） 舞台芸術公演に際し効果的な演出を行うため、照明、音響、舞台機構等の舞台業務を委託実施した。</p> <p>(4) 県民ホール施設改善費（14,148千円） 小ホール棟スライディングウォールの修繕、低圧コンデンサの修繕を行った。</p>	<p>入場者数 KJO 関係者に限定 KFC 171名</p> <p>ジュニア・オーケストラ参加者数 合奏コース 49名 基礎コース 61名</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>県立ミュージアム事業（1－8－7）</p> <p>1. 趣旨・概要 県立ミュージアムにおいて、大規模な展覧会を開催するなど、優れた美術作品や歴史的資料を鑑賞する機会の充実に図り、県内外からの来館者の誘致に努めた。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 大規模展事業（23,247千円） ① 「白馬のゆくえ 小林萬吾と日本洋画50年」 ② 「語る武具—ARMOUR & STORIES—」</p> <p>(2) 展示企画費等（8,726千円） 第67回日本伝統工芸展及び常設展を企画・開催した。</p> <p>(3) 教育普及、資料管理、調査研究事業等（3,633千円） 各種講演、ワークショップ等を実施した。</p> <p>(4) 職員給与費、嘱託報酬等（216,222千円） 県立ミュージアム本館・瀬戸内海歴史民俗資料館・文化会館の人件費</p> <p>(5) その他管理費（146,330千円） 県立ミュージアムの施設の管理運営を実施した。</p> <p>(6) 歴史民俗資料館運営事業（12,670千円） 瀬戸内海歴史民俗資料館において、資料収集、調査研究、教育普及などを実施した。</p> <p>(7) 文化会館運営事業（20,348千円） 文化会館において、文化芸術活動の場として広く利用できるよう管理運営を実施した。</p> <p>(8) 歴民機械室改修事業等（55,533千円） 瀬戸内海歴史民俗資料館の機械室改修及び第1展示室特定天井改修等を行った。</p>	<p>3. 指標 県主催・共催の文化事業への参加者数 [累計] (人)</p> <table border="1" data-bbox="941 347 1428 515"> <thead> <tr> <th>基準値 (H23～27)</th> <th>実績値 (H28～R2)</th> <th>目標値 (H28～R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,243,975</td> <td>1,000,989</td> <td>1,276,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>開催実績・入館者数</p> <p>① 4月11日～6月7日 2,229名 (4月18日～5月8日 臨時休館)</p> <p>② 10月24日～12月6日 4,748名</p>	基準値 (H23～27)	実績値 (H28～R2)	目標値 (H28～R2)	1,243,975	1,000,989	1,276,000
基準値 (H23～27)	実績値 (H28～R2)	目標値 (H28～R2)					
1,243,975	1,000,989	1,276,000					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>香川漆芸活性化推進事業（1－8－10）</p> <p>1. 趣旨・概要 香川漆芸のブランド化を図るため、情報発信や若手漆芸作家が行う展示発表への支援を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 漆芸アート魅力再発見事業（10,052千円）</p> <p>①情報発信事業 富裕層の購読者が多い雑誌「家庭画報」とのタイアップにより、人間国宝の香川漆芸作家と世界的デザイナー・故高田賢三氏とのコラボ事業として、高田氏がデザインした菊花のプレートと重箱を制作し、「家庭画報」専用サイト上で販売した。</p> <p>②漆芸作品販売拠点整備事業 毎年春に開催されている国内最大級のアートの見本市「アートフェア東京2021」に、漆芸研究所のブースを出展し、香川漆芸のPRを行うとともに、若手漆芸作家が出展・販売を行った。また、栗林庵に作品を展示販売できる専用スペースを設けた。</p> <p>③漆芸研究所修了作品貸出事業 漆芸研究所が所有する修了作品を、本県にゆかりのある県内外の企業・団体に対し、一定期間無償で貸出し、展示してもらうことにより、より多くの方に香川漆芸の魅力を知っていただく機会を創出した。</p> <p>(2) 若手漆芸作家支援事業（363千円） 香川漆芸のブランド化を図るため、若手漆芸作家に対し、作品の展示発表会等に係る経費の支援を行った。</p>	<p>県内外での香川漆芸の認知度向上、ブランド力の強化に繋がった。</p> <p>①「家庭画報」の情報発信力、故高田賢三氏のブランド力の相乗効果で、「香川漆芸」の効果的なアピールに繋がった。</p> <p>②アートフェア東京2021 出品者 若手漆芸作家2名 来場者 2,840名</p> <p>③修了作品貸出実績 貸出先数 15の企業・団体 貸出点数 39点</p> <p>若手漆芸作家3名を支援した。</p>						
<p>世界遺産登録推進事業（1－8－11）</p> <p>1. 趣旨・概要 四国遍路の世界遺産登録に向けて、札所寺院や遍路道の保護措置として、史跡指定のための詳細調査等を実施するとともに、文化庁など関係機関との協議を行い、国内暫定一覧表への追加記載を要望した。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 世界遺産登録推進事業（12,778千円）</p> <p>①札所寺院・遍路道調査事業 屋島寺・八栗寺の詳細調査を実施し、史跡指定に向けての資料を収集するとともに、志度寺（第1分冊）と大窪寺の調査報告書を刊行した。</p>	<p>3. 指標 札所寺院および遍路道の保護措置数 (か所)</p> <table border="1" data-bbox="941 1646 1428 1803"> <thead> <tr> <th>基準値 (H27)</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>目標値 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>8</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)	6	8	10
基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)					
6	8	10					

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>また、甲山寺や大興寺の詳細調査の成果を地域の方々にわかりやすく説明するため、対象を地域住民と地元小学生に分けて調査報告会をそれぞれ開催したほか、東かがわ市で四国遍路を生かしたまちづくりのヒントを学ぶための講座を開催した。</p> <p>四国遍路世界遺産登録推進協議会の取組みとして、「普遍的価値の証明」部会において、研究会や検討会を開催し、様々な分野の専門家を交えて、四国遍路の価値を検討したほか、「資産の保護措置」部会において、「四国遍路道共通保存管理計画」を策定するなど、課題解決に向けた取組みを進めるとともに、文化庁等に対して世界遺産国内暫定一覧表への追加記載などの要望を行った。</p> <p>②日本遺産登録推進事業</p> <p>日本遺産に認定されている「四国遍路」をPRするため、令和2年10月10・11日に愛媛県今治市で開催された日本遺産サミットに出展するとともに、県内の日本遺産に認定された市町に対し、補助事業や情報発信に対する助言などの支援を行った。</p>	
<p>新しい生活様式のもと頑張る文化芸術活動支援事業 (1-8-12)</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>新しい生活様式のもと、県内で行われる文化芸術活動を支援するとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う県有施設の利用料等を還付した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 新しい生活様式のもと頑張る文化芸術活動支援事業 (10,981千円)</p> <p>①新しい生活様式のもと頑張る文化芸術活動支援事業 かがわ文化芸術祭に参加する団体等の地域の文化芸術活動を支援した。</p> <p>②県民ホール利用促進事業(県民ホール大・小ホール) 県のイベント開催制限の段階的緩和の方針に沿いながら、県民ホール(大・小ホール)を活用したイベントの主催者を支援した。</p> <p>③県有施設キャンセル料等還付事業 県のイベント開催制限に伴い、6月1日から9月30日の間に県有施設で予定していたイベントを中止し施設利用をキャンセルした場合に、既に納付されている利用料等を還付した。</p>	<p>①交付実績 44件</p> <p>②補助実績 23件</p> <p>③還付実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民ホール大・小ホール 22件 ・サンポート高松かがわ国際会議場・展示場 1件 ・サンメッセ香川大・小展示場 1件

2. 課総括表

課名：瀬戸内国際芸術祭推進課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-9-1	職員給与費	86,620	86,518		102	瀬戸内国際芸術祭推進課職員の給与費等 給与費43,207、職員手当等25,412、共催費15,919
1-9-2	瀬戸内国際芸術祭推進総務費	6,039	5,237		802	瀬戸内国際芸術祭推進課の運営に要する経費
1-9-3	瀬戸内国際芸術祭推進事業	47,064	26,647		20,417	主要事業の成果の概要(1-9-3)に記載
	課計	139,723	118,402		21,321	

3. 職員数の状況 (R3. 3. 31現在)

課名：瀬戸内国際芸術祭推進課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
瀬戸内国際芸術祭推進課	11		11	
合計	11		11	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>瀬戸内国際芸術祭推進事業（1－9－3）</p> <p>1. 趣旨・概要</p> <p>令和4年4月に開幕する「瀬戸内国際芸術祭2022」に向けて着実に準備を進めた。また、新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、過去の芸術祭作品をアート資源として公開し、各種イベントなどを開催する「ART SETOUCHI」活動を実施することにより、島々の活性化や芸術文化によるにぎわいづくりを図るとともに、瀬戸内の魅力や「アートの香川」を発信した。</p> <p>2. 具体的内容</p> <p>(1) 瀬戸内国際芸術祭推進事業（26,647千円）</p> <p>①取組方針の策定</p> <p>「瀬戸内国際芸術祭2022取組方針」の策定・見直しを行った。</p> <p>②作品制作へ向けた準備</p> <p>(i) 各会場の地域資源を活かしたアートプロジェクトを募集することを目的に、国内外に向け作品公募を実施した。</p> <p>(ii) 取組方針の「重点的な取組みの視点」に掲げる「瀬戸内の里海・里山の隠れた資源の発掘と発信」について、地元市町等の関係者と勉強会や個別協議を重ねながら、作品展開等の検討を行った。</p> <p>③受入環境の整備等</p> <p>地元市町や関係団体、事業者等と協議を行いながら、海上・島内交通などの受入環境の整備や広報、来場者への情報提供等の準備を行った。</p> <p>④「ART SETOUCHI」活動の実施</p> <p>(i) 芸術祭2019の継続作品をアート資源として有効活用し、公開するとともに、各種イベントやアーティストによるワークショップを開催する「ART SETOUCHI」活動を実施し、年間を通じた地域の活性化に取り組んだ。</p> <p>(ii) 未来の瀬戸内を担う人材を育成するため、県教育委員会や県内の高等学校等と連携して芸術祭に関する学習や課外活動等を実施した。</p> <p>(iii) サポーター募集説明会（オンライン）を実施するなど、地域活性化の取組みに継続的に関わるサポーターの確保・育成を図った。</p>	<p>(i) 作品公募に対する応募件数：421組、501点。</p> <p>(i) 実行委員会主催イベントの参加者数：1,466人（オンライン含む）</p> <p>(ii) 学校連携事業の参加者数：155人</p> <p>(iii) サポーター募集説明会の参加者数：66人</p>

2. 課総括表

課名：デジタル戦略課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-10-1	一般庁費等	1,800	1,800			地方公共団体情報システム機構負担金
1-10-2	政策立案推進事業	1,103	130		973	主要施策の成果の概要(1-10-2)に記載
1-10-3	情報通信関連産業育成・誘致事業	85,636	83,905		1,731	主要施策の成果の概要(1-10-3)に記載
1-10-4	情報通信交流館維持管理・運営事業	245,762	244,570		1,192	e-とぴあ・かがわ(情報通信交流館)の運営管理に要する経費
1-10-5	電子県庁推進事業	27,214	26,992		222	主要施策の成果の概要(1-10-5)に記載
1-10-6	地域高度情報化促進事業	70	40		30	地域情報化推進に要する経費
1-10-7	公衆無線LAN環境整備促進事業	2,228	2,227		1	主要施策の成果の概要(1-10-7)に記載
1-10-8	オープンデータ推進事業	1,140	1,139		1	オープンデータカタログサイト運用に関する経費
	課計	364,953	360,803		4,150	

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>政策立案推進事業（1-10-2）</p> <p>1. 趣旨・概要 せとうち田園都市の新たな創造をめざして、県政を取り巻く様々な課題の解決に向けて、調査研究や各種取組みを行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 自動運転社会実装検討事業（50 千円） 自動運転の技術レベルや制度面の整備状況、実証実験を行っている自治体での取組み等の情報収集を行った。</p> <p>(2) 5G利活用推進事業（80 千円） 庁内及び市町職員向けの勉強会などを開催するとともに、株式会社NTTドコモとの連携協定のもと、「Setouchi-i-Base」に5G通信環境を整備し、新たなビジネスにつながる試作品づくりや5Gのデモ体験を実施した。</p>	<p>勉強会参加者数 67 名</p>
<p>情報通信関連産業の育成・誘致事業（1-10-3）</p> <p>1. 趣旨・概要 人材交流・ビジネスモデル創出のオープンイノベーション拠点を整備し、人材育成事業を実施するとともに、拠点に集う多様な人材の交流、起業相談やビジネスマッチング支援の実施などを通じて、情報通信関連産業の育成・誘致に取り組んだ。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 情報通信関連産業育成・誘致拠点整備事業 (45,440 千円) 情報通信交流館の一部を改修し、人材交流・ビジネスモデル創出のオープンイノベーション拠点「Setouchi-i-Base」を整備した。 ・コワーキング（共同オフィス）・コラーニング（共同学習）スペースの整備 ・共同利用できる創作工房 ・テレビ会議システムの導入 ・5G環境の整備 等</p> <p>(2) 情報通信関連人材育成事業（22,426 千円） ①かがわコーディングブートキャンプ開催事業 (20,296 千円) 「Setouchi-i-Base」を講座会場とし、個別指導を行う専門講師が常駐する体制を構築することで、講座のプログラミング言語やアプリ開発に必要なプログラミングスキルに短期集中的に習得するとともに、最終課題としてチームでアプリ開発を行うなど、実践的な講座を提供した。</p>	<p>拠点利用者数 4,162 名</p> <p>①受講者数 30 名（受講定員と同数）</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>②先端技術セミナー開催事業（909 千円） 情報セキュリティ、キャッシュレス、ロボット、ブロックチェーン、デザインなどの先端技術や知識に関するセミナーを実施した。</p> <p>③アントレプレナーシップ養成事業（1,221 千円） 起業や第二創業等の意識の醸成や経営マネジメント等を学ぶセミナーを開催した。</p> <p>(3) 情報通信関連産業育成・誘致拠点運営事業 (16,039 千円)</p> <p>①アドバイザーリーチーム拠点活動事業（1,119 千円） 県内外の情報通信関連分野で活躍する企業経営者や有識者19名から構成するアドバイザーリーチームを組成。 「かがわイノベーションサミット」を開催し、情報通信関連産業の育成・誘致事業に対する施策の提言や拠点運営に関するアドバイスをいただくとともに、拠点利用者の起業・事業創造に関するメンタリング等を実施した。</p> <p>②コーディネーター拠点支援事業（9,922 千円） 「Setouchi-i-Base」に専任のコーディネーターを配置し、拠点利用者からの相談への対応やビジネス化に向けた伴走支援、新たなネットワークづくり、情報発信などを行った。</p> <p>③戦略的情報発信事業（4,998 千円） 「Setouchi-i-Base」のオープニングイベントを開催するとともに、専用ポータルサイト開設、ウェブ広告出稿など、「Setouchi-i-Base」の認知度向上と拠点利用者の拡大に努めた。</p>	<p>②かがわ情報化推進協議会と連携し、計5回のセミナーを開催し、延べ1,542名（オンライン含む）が受講した。</p> <p>③計2回のセミナーをオンラインで開催し、80名が受講した。</p> <p>②相談対応件数 個人 136件 法人等 15件 ネットワーク・情報発信イベント 開催数 69回 参加者数 会場 593名 オンライン 2,364名</p> <p>③「Setouchi-i-Base」ポータルサイト Web 会員数 559 名</p>

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価						
<p>電子県庁推進事業（1-10-5）</p> <p>1. 趣旨・概要 県民や事業者が、電子申告や電子申請、公共施設予約をインターネットを通じて行えるよう公的個人認証サービスの提供を行った。</p> <p>2. 具体的内容 (1) 公的個人認証サービス運営事業（26,756千円） 電子申請や電子申告をする際に成りすましやデータの改ざんを防止し、厳格な本人確認を安価に行える公的個人認証サービスの運用管理を行った。</p> <p>(2) 電子県庁推進事業事務費（236千円）</p>							
<p>公衆無線LAN環境整備促進事業（1-10-7）</p> <p>1. 趣旨・概要 公衆無線LAN環境の整備を促進するため、公衆無線LANの整備を行う市町及び民間事業者に対して、整備費の一部の補助を行った。</p> <p>2. 具体的内容（2,227千円） (1) 公衆無線LAN環境整備促進事業補助金 公衆無線LAN「かがわWi-Fi」スポット拡大のために、香川県公衆無線LAN環境整備促進事業補助金交付要綱を制定し、「かがわWi-Fi」の整備を行う市町及び民間事業者に対し、整備費の一部の補助を行った。</p> <p>(2) 宿泊施設における無線LAN環境整備事業補助金 宿泊施設における無線LAN環境の整備を促進するため、宿泊施設における無線LAN環境整備事業補助金交付要綱を制定し、事業者に対して整備費の一部の補助を行った。</p>	<p>3. 指標 無料Wi-Fiスポット数（か所）</p> <table border="1" data-bbox="943 882 1401 1021"> <thead> <tr> <th>基準値 (H27)</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>目標値 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,088</td> <td>1,827</td> <td>1,743</td> </tr> </tbody> </table>	基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)	1,088	1,827	1,743
基準値 (H27)	実績値 (R2)	目標値 (R2)					
1,088	1,827	1,743					

2. 課総括表

課名：情報システム課
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-11-1	情報政策課運営費	140,908	140,908			情報政策課の運営に要する経費 給料71,911、職員手当等42,862、 共済費26,135
1-11-2	一般庁費等	1,390	1,390			集中管理特別会計（機械計算事務 費） 繰出金
1-11-3	電子県庁推進事業	30,953	30,952		1	主要施策の成果の概要 (1-11-3)に記載
1-11-4	機械計算事務費					主要施策の成果の概要 (1-11-3)に記載
1-11-5	行政情報化推進事業	79,939	78,820		1,119	行政情報化推進に要する経費
1-11-6	行政情報ネットワーク推進事業	86,037	84,577		1,460	行政情報ネットワーク推進事業費 映像情報システム運営事業費
1-11-7	情報システム推進事業	500,145	479,493		20,652	主要施策の成果の概要 (1-11-7)に記載
	課計	839,372	816,140		23,232	

3. 職員数の状況 (R3.3.31現在)

課名：情報システム課
(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合計 職員数	備 考
情報政策課	[3] 22	1	[3] 23	令和3年4月1日付け組織改正により組織名変更
合計	[3] 22	1	[3] 23	

当該所属への兼務等発令者を含み、年間を通して当該所属で勤務する者を「」内書きにより記載。

4. 主要施策の成果の概要

事業の実施状況	効果・評価
<p>電子県庁推進事業（1-11-3）</p> <p>1. 趣旨・概要 総合行政ネットワーク（LGWAN）の運営を行うとともに、庁内業務のデジタル化に向けて一人一台パソコンのモバイル化を行った。</p> <p>2. 具体的内容 （1）総合行政ネットワーク参画事業（30,952千円） 国や全国の地方公共団体を接続する総合行政ネットワーク（LGWAN）の運営を行った。</p> <p>（2）デジタル化・ペーパーレス化の推進（128,124千円） 庁内業務のデジタル化・ペーパーレス化を推進するため、庁内でのペーパーレス会議や庁外でのモバイルワークに活用できるよう、一人一台パソコンを専用の無線回線で庁内ネットワークに接続可能なモバイル型とした。</p>	<p>国や全国の地方公共団体を接続する総合行政ネットワーク（LGWAN）の運用管理を行い、県民サービスの向上を図るとともに、一人一台パソコンのモバイル化を行った。</p>
<p>情報システム推進事業（1-11-7）</p> <p>1. 趣旨・概要 情報システムの適切な調達・運用を図るため、情報システムの調達審査を行うとともに、基幹系情報システム等の各種システムの運用やセキュリティ対策を行った。</p> <p>2. 具体的内容 （1）情報システム推進事業（479,493千円）</p> <p>①情報システムの調達審査 情報システム調達審査委員会において、予算要求前審査を132件、調達開始前審査を75件実施した。</p> <p>②基幹系情報システムの運用 財務会計、給与、電子入札等の基幹系情報システムの運用を行った。</p> <p>③情報セキュリティ対策の強化 情報セキュリティ強化のために構築した庁内システムの運用管理を行うとともに、県内市町と共同で導入した自治体情報セキュリティクラウドを運用し、高度なセキュリティ対策を実施した。</p> <p>④テレワーク基盤の運用 テレワークのために必要な情報通信基盤の運用管理を行った。</p> <p>⑤AI等の活用による業務効率化 AIやRPAの活用によって業務の自動化・効率化を推進した。</p>	<p>①情報システム調達審査における情報システムの運用経費の削減額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算要求前審査：約5億1千万円（令和3年度予算要求ベース） ・調達開始前審査：約10億6千万円（長期契約における複数年度の削減額を含む。） <p>④テレワーク実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅勤務：延べ4,565回 ・モバイルワーク：延べ7,155回 <p>⑤AI等システムの利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RPA：11業務 ・AI-OCR：22業務 ・会議録作成支援システム：延べ1,241回

2. 課総括表

課名：出納局

(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-12-1	出納局運営費	56,168	55,306		862	出納局の運営に要する経費
1-12-2	給与費	223,455	223,436		19	出納局職員の給与費 給料117,112、職員手当等 66,377、共済費39,947
	課計	279,623	278,742		881	

3. 職員数の状況 (R3. 3. 31現在)

課名：出納局

(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
出納局	27	5	32	育児休業2名
合計	27	5	32	

2. 課総括表

課名：議会事務局
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-13-1	県議会だより発行事業	897	801		96	県議会の広報誌を年5回発行する経費
1-13-2	県議会会議録情報発信事業	1,920	1,563		357	本会議及び委員会での質疑の記録を県議会のホームページ上に掲出する経費
1-13-3	本会議等中継発信事業	2,055	2,055			本会議及び委員会の映像を県議会ホームページ上で、インターネットを通じ配信する経費
1-13-4	県議会議員費	643,405	639,539		3,866	議員の報酬及び費用弁償並びに議員活動に必要な諸経費
1-13-5	政務活動費	147,600	147,600			議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として議員に交付する経費
1-13-6	議会事務局運営費	345,056	340,389		4,667	議会事務局の運営に要する経費 給料144,224、職員手当等84,740、共済費50,389
1-13-7	部局運営事務費	70	70			職員旅費など事務局運営に要する経費
	課計	1,141,003	1,132,017		8,986	

3. 職員数の状況 (R3.3.31現在)

課名：議会事務局
(単位：人)

本課・出先名称	定数内職員数	定数外職員数	合計職員数	備考
議会事務局	31	18	49	
合計	31	18	49	

2. 課総括表

課名：監査委員事務局
(単位：千円)

番号	事業名	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	事業執行状況
1-14-1	監査委員費	18,826	18,724		102	監査委員の報酬等 委員報酬6,624、委員給与費 11,633、委員活動費467
1-14-2	監査委員事務局 運営費	112,734	111,386		1,348	監査委員事務局の運営に要する経 費 給料57,379、職員手当等 33,514、共済費19,126
	課計	131,560	130,110		1,450	

3. 職員数の状況 (R3. 3. 31現在)

課名：監査委員事務局
(単位：人)

本課・出先名称	定数内 職員数	定数外 職員数	合 計 職員数	備 考
監査委員事務局	12		12	
合計	12		12	